

4月1日
月曜日

ヨシュア 1:1~9 「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこのすべての民は立て、このヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの民に与えようとしている地に行け。(2)

あじわえば あじが わかります

体験とは、私が直接、体でやってみて経験することを言います。舌で味を知ってこそ味が分かるように、神様がくださった約束のみことばである契約を体験することが重要です。神様のみことばはどんな味でしょうか。「あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょうか。蜜よりも私の口に甘いのです。」(詩篇119:103)「わが子よ、蜜を食べよ。それはおいしい。蜂の巣の蜜はあなたの口に甘い。」(箴言24:13) 信仰の人は、神様のみことばが蜜のように甘いと告白しました。イスラエルの民を連れてカナンに入ったヨシュアは、神様がくださった「わたしがあなたとともにいる」という契約をしっかりと握りました。ジェームズ・パッカー牧師先生は「神様がともにおられるという考えは、私たちの人生を驚異的に変える秘訣だ」と言いました。右にも左にもそれずに、神様のみことばを黙想しながら守って行うとき、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができると約束してくださいました。礼拝を通じてくださるみことばを心に刻んでみましょう。エジプトで起きた十の奇跡を体験して、紅海を分けたヨシュアのように、神様の驚くべき証拠を見るようになるでしょう。

3 Today

きょうのみことば

イサヤ60

11月28日 11月29日 11月30日

きょうのいのり

きょうの でんどう

ていこくはんにせいのしるしを
チェックしよう

せいく 100 おぼえよう (19)

みことばをしっかりと読んでみたら、みことばの味がわかるでしょう！みことばを暗唱してしっかりと心に刻みましょう。神様がくださるおどろく義がわかるでしょう。マルコ 10:45のみことばをよく読んで、ばらばらになった単語をならべて書いてみてください。

マルコ 10 章 45 節

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。

来たのも マルコ 与える また、多くの人のための かえって
仕えられる 贖いの代価として ため 人の子が 10 章 45 節
自分のいのちを ではなく ためなのです 仕えるためであり



神様！ヨシュアのように「わたしがあなたとともにいる」という神様の契約を握らせてください。礼拝時間に受けたみことばを心に刻むことができますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

4月2日
火曜日

ヨシュア 3:1~13 主はヨシュアに仰せられた。「きょうから、わたしはイスラエル全体の見ている前で、あなたを大いなる者としよう。それは、わたしがモーセとともにいたように、あなたとともにいることを、彼らが知るためである。(7)

なみさまく ヨルダンも もんだいでは ありません!

アメリカでは、国家的な災いがやってきたとき、「Back to the Bible」(聖書に帰ろう)というスローガンを叫ぶということです。神様のみことばの中に入っている解答が入っていることを認めようという意味で、しっかりして神様のみことばの前に立とうという意味です。みなさんは、問題がきたとき、なにを見つめてついて行くのでしょうか。40年間、荒野の道を歩いてきたイスラエルの民が水の流れるがけしいヨルダン川の前にはやってきました。そのとき、神様は「契約の箱について行きなさい」とおっしゃいました。契約の箱の中には、石の板、マナ、つえが入っていました。これは、それぞれ神様のみことば、神様の導き、神様の力を意味します。契約の箱に従って行くということは、この三つを信じるという意味です。祭司がこの契約の箱を担ってヨルダンに足を入れたら、川がかわいた地に表われて道ができました。すべてのイスラエルの民がヨルダンを渡る奇跡を体験して、次世代にこの事実を知らせるために記念碑も立てました。みなさんも、このような体験をしたいですか。神様のみことばを信じてついて行くとき、環境は変わるでしょう。さあ~それではヨルダンのような問題に向かって祈りで挑戦してみましょう。

3Today

きょうのみことば

イサヤ61

「わたしは、主の霊に満たされた。主はわたしをよびよる。主はわたしをよびよる。主はわたしをよびよる。」

きょうのいのり

きょうの だんとう

せんきょうりよこう5

リビア

リビアは、アフリカの北西部にあるイスラムの国家です。油田があり、石油を輸出しています。国民の97%がイスラム教を信じていて、ローマカトリックの信者が2.6%でわずかにいます。古代のリビアは、地中海貿易の中心でした。しかし7世紀にアラブによって900年間支配され、1551年からオスマントルコに統治されました。1911年からイタリヤ、第二次世界大戦の中で、イギリス、フランスに侵略されるなど、長い間、ほかの国の植民地として生きていました。

「リビア内戦」ということばを聞いたことはありますか。2011年1月13日に、リビアの国民が不正して腐敗した政府に反対して、デモを起こして全世界がリビア内戦に関心を持つようになったのでした。このときに、42年間リビアを統治していたムアンマル・アル=カダフィが反政府の支持者によって殺されました。統治者がいなくなったリビアは、権力を握ろうとして、部族の間で葛藤と戦争が毎日、たえずあります。混乱に陥って苦しんでいるリビアに福音が伝えられるように祈りましょう。

・この文章は、「祈りの手帳」の2012年10月号の文章を新しく書いたものです。

リビアをとうちしやのなまえは?

リビアをとうちしやのなまえは?

ヨルダンのような問題の前で、こわがらずにみことばを信じて従うことができますように。神様のみことばとみちびき、力を信じます。毎日、ヨルダンを体験させてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

4月3日
水曜日

ヨシュア 6:1~13 主はヨシュアに仰せられた。「見よ。わたしはエリコとその主、および勇士たちを、あなたの手に渡した。あなたがた戦士はすべて、町のまわりを回れ。町の周囲を一度回り、六日、そのようにせよ。(2~3)

エリコの じょうへきが どっと くずれました

「難攻不落」というのは、「攻撃するのが難しく、決して陥落しないこと」を意味します。あまりにも力が強くて征服することがむずかしいということです。イスラエルの民がヨルダンを渡ったあと、最初に征服しなければならない地がエリコの町でした。エリコの町は、難攻不落の町で、かたくて丈夫な町でした。表から見るとは難攻不落の町のように見えたのですが、偶像崇拜と墮落のために、崩れる町でした。イスラエルの民は口を閉じて、ただ契約の箱について七日間エリコの町の周囲を回りました。最後の日には、エリコの町を回っていっせいに声を叫びました。

すると、エリコの城壁が崩れ落ちたのです。今の時代のエリコは、アメリカや、日本、中国のような強大国を意味します。また、ニューエイジ、フリーメイソン、ユダヤ人の組織、イスラム教、気功や瞑想運動のように、全世界に音楽と映画、宗教を通して悪霊文化と墮落文化をまき散らす団体を言います。福音に深く根をおろして、難しい町を崩す証人として立てられることを祈ります。

3Today

きょうのみことば

イザヤ82

いかに「しんごう」のみのことばをよもう!

きょうのいのり

きょうの でんどう

よ じ じゆく ご 四字熟語 を せいふく しよう!

エリコの城壁は、かたくて高く、絶対に崩れないように見えました。このような町のことを、四字熟語で「難攻不落」と言います。しかし、神様の子どもには「難攻不落」はありません! 神様の力が私たちにありますから。いっしょに読んでなぞって書いてみましょう。

なん こう ふ らく
(むずかしい) (こうげき) (できない) (おちること)

難攻不落

▲ 攻撃することがむずかしく、なかなか陥落する (くずれおちる) ことがないこと

難攻不落に見える問題がありますか。絶対に解決することがないようで悩んでいますか。神様の前に私の問題を出して「難攻不落」の問題を解決する力をくださいと祈りましょう。神様がこの世を越える大きな力をくださるでしょう。

私をこの時代のエリコである強大国を生かすレムナントとして成長させてください。また、福音を邪魔する墮落文化を広めるエリコの勢力を崩して、そこに陥った人を救い出すレムナントとして立ててください。イエス・キリストのお名前によっていのりします。アーメン

4月 4日
木曜日

創40:1~23 あなたがしあわせになったときには、きっと私を思い出してください。私に恵みを施してください。私のことをバロに話してください。この家から私が出られるようにしてください。(14) ところが献酌官長はヨセフのことを思い出さず、彼のことを忘れてしまった。(23)

わたしの みぶんと けんいは これほど だったとは！

人はだれでも、いろいろな苦しみを体験します。そのような苦しみをなぜ体験するようになるのでしょうか。苦しみは人間が神様に不従順になって罪を犯して、神様を離れた時から始まりました。まさに創世記3章に出てきた事件です。木が地面から離れる時から苦しみと不幸が始まるように、人間が神様に不従順になって神様を離れたとき、苦しみと不幸が始まりました。ヨセフにとっても大きな苦難が訪ねてきたのですが、神様を愛する気持ちでいっぱいだったヨセフを打ち倒すことはできませんでした。「私は神様とともにいる神様の子ども」という身分と権威を握ったヨセフは、むしろ苦しみを利用して頂上の座に上がりました。レムナントはヨセフのように、身分と権威を味わって、祈りの中に入って苦しみと問題を利用するすてきな霊的★サミット(summit)になってください。耐えることができない大きい問題がきてもだいじょうぶです。イエス・キリストがともにおられるからです！今日も「イエス様はキリスト！イエス様はすべての問題の解決者！イエス様は逆転の名射手！」と叫びましょう。

★サミット(summit): 「頂上」という意味の英語の単語

3 Today

きょうのみことば

イザヤ63

いのちの糧 11月号 神さまのあこがれ 45ページ

きょうのいのり

きょうの でんどう

ていこくつうに せいのしるし チェックしよう

くるしみをしゅくふくに！

ヨセフには、兄たちのしつとも、奴隷生活も監獄生活も、まったく問題になりませんでした。神様の子どもであるヨセフには、苦しみは祝福だったのです。私にも苦しみや問題だと思えることがありますか。

かみさまの 子どもの けんい
神様の子ども 権威

かみさまの 子どもの みぶん
神様の子ども 身分

神様の子どもである私の身分と権威を確認するとき、苦しみは答えの機会に変わります。私の苦しみを書いてみて、神様の子どもである身分を味わうとき、どんな答えに変わるか書いてみましょう。

ヨセフのように、神様の子どもである身分と権威を味わわせてくださってありがとうございます。苦しみがはっきりすることなく、苦しみを利用するレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

4月5日
金曜日

創45:1~5 ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか私に近寄ってください。」彼らが近寄ると、ヨセフは言った。「私はあなたがたがエジプトに売った第のヨセフです。今、私をここに売ったことで心を痛めたり、怒ったりしてはなりません。神はいのちを救うために、あなたがたより先に、私を遣わしてくださったのです。(4~5)

まことの せいこうしゃ

奴隷だったヨセフとエジプトの王であるパロ、どちらが成功者でしょうか。世の人は、お金と力、名誉をすべて持ったパロ王が成功者だと思おうでしょう。しかし、ヨセフは奴隷であり、囚人でしたが、行く所ごとに成功者を生かすまことの成功者でした。ヨセフのゆえに彼の主人ポティファル将軍の畑にまで祝福されて、神様がくださる知恵で官長とパロ王の夢を解釈して、成功者の問題を解決しました。ヨセフは、エジプトの総理になっても神様の栄光を現わすまことの成功者でした。私たちの目標は成功ではありません。成功者を生かして神様に栄光をささげるのです。まことの成功者になろうとするなら、ヨセフのように神様がともにおられる事実を本当に信じて味わえば良いのです。問題がありますか。すでにイエス様がすべて解決されました。それで問題の中には神様の計画が含まれているのです。問題を解決してくださいと祈らずに、ともにおられる神様をずっと黙想してみましょう。知恵と神様の力が臨んで、問題の中に隠された神様の計画が見えます。結局、他の人を生かして神様の栄光を現わします。今日一日もヨセフのように成功者の生活を送りましょう。

3 Today

きょうのみことば

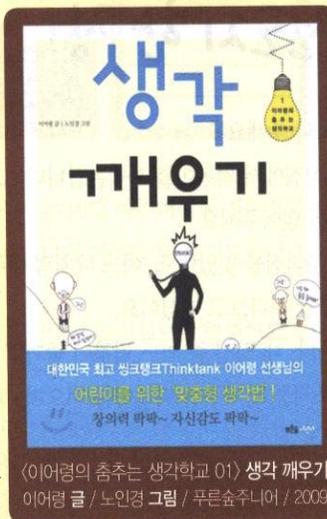
イザヤ64

イザヤ 14:29-31
ヨセフの栄光

きょうのいのり

きょうのてんどう

成功者を生かすまことの成功者になろうとするなら、なにを準備しなければなりませんか。まず最初に私の心の中にみことばが深く根をおろさなければなりません。そして、すべての分野で考えをとでも広く、霊的な基準でなければなりません。「考えの覚醒」という本は、子どもが毎日出会うちよっとした知識と情報で考えを発見して、広く、応用する方法を知らせてくれる本です。昔の話、進化、歴史、人物、芸術、科学など、いろいろな分野の話を見て、違う角度から考える力を育てることができます。まこと成功者になるレムナントならば、いまから考えをパツ！と目覚めさせましょう。



〈이어령의 증추는 생각학교 01〉 생각 깨우기
이어령 글 / 노인경 그림 / 푸른숲주니어 / 2009

「考えの覚醒」は韓国語の本です。日本語にはなっていませんが、参考までに紹介文を出しておきます（記者注）

ほんをよもう

ヨセフと同じインマヌエルの奥義を味わって成功者を生かし、神様の栄光をあらわすまことの成功者にならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



おはなし もくそう

でんどうトラクト 1まい!

「おばさん、トッポッキをひとつください!」
 ハルカは、毎日、トッポッキをお店で買って食べます。それなので、おばさんはハルカがかかる時ごとに、トッポッキをひとつ多めにくれます。
 今日もおばさんはお店にやってきました。いつものようにおばさんと呼んだのですが、おばさんは返事をせず、ぼんやりと空だけ見つめていました。
 「ああ、ハルカが来たのね。ちょっとぼんやりしていて…トッポッキあげるね」
 おばさんが、いそいで用意してくれたトッポッキを食べながら、ハルカは友だちといっしょに家へ向かいました。
 「今日、おばさん、おかしいね。そう思わない」
 「おばさんの息子が私たちの学校の6年生だって。ところで昨日、交通事故で病院に入院しているらしいよ」
 ハルカはびっくりしました。おばさんが、ぼんやりと座っていたのは、その理由のためだったと思いました。

「どうしたら、おばさんを助けてあげられるのかな…」

つぎの日、ハルカは、同じようにお店に行きました。
 おばさんは、心配がいっぱいな顔でした。ハルカは、トッポッキをもらって、おばさんに、きれいにおつたでんどうトラクトを渡しました。
 「おばさん、プレゼントです!」



おばさんが、びっくりした表情をしたので、ハルカははずかしくて、すぐにお店を出ました。
 一日、二日、一週間、一ヶ月…。ハルカは、毎日おばさんにでんどうトラクトを持って行って渡しました。そして、毎日、寝る前におばさんとおばさんの息子のために祈りました。

3Today



そして1ヶ月後、ハルカは学校が終わってお店へ向かいました。ところで、お店には、はじめて見る男の子が座っていました。

「きみがハルカなの。ありがとう。きみがくれたでんどうトラクトのおかげで病院生活が苦しくなかったよ」
 男の子は、お店のおばさんの息子だったのです。ハルカが毎日あげていたでんどうトラクト一枚が、おばさんの家族に幸せを与えていたのです。ハルカの心はうれしくて胸がいっぱいになりました。

